

かがやき

加入団体

活動紹介

芳賀くらしの会（会長 酒井 由理）
悪質商法から身を守る啓発の紙芝居をしています。

主な内容

- 総会
- 会員研修
- かがやく町民のつどい
映画『人生、いろいろ』
- 研修旅行
- 日本女性会議

芳賀町は今年、町制施行六十周年を迎えることはご存じのことと思います。六十年前、私はまだ生まれていませんが、当時「戦後」と言われていたと思います。「戦後、女性とスタッフングは強くなつた」と聞いたことがあります。けれども「女の分際で」「女のかせに」と言われ、女性の地位は低いものだつたと思います。

現在、女性の社会進出は自覚ましく、責任ある立場に就くようになりました。男女共同参画と言うまでには、多くの先人達の忍耐と努力と覚悟があつてのことと思います。その上に今の私達が居ることを忘れてはいけないと思います。

副会長



大会資料が入ったこのバックは、市民ボランティアの皆さんによる手作りのものです。8月12日～15日の阿波踊り期間中の様子を知らせる新聞紙で作られ、大変丈夫にできています。

『日本女性会議2013あなん』に参加して

東水沼 小林 久子

日本女性会議三十周年記念大会となる今大会は、徳島県阿南市で開催されました。お接待満載の心温まる大会でした。

大会テーマ「いきいきわくわく小さな町から新たなステージ」のもと、地域の問題、各年代ステージによる課題、農林漁業、DVの問題など分科会は多岐にわたりました。私は、第一分科会「介護・地域医療」に参加しました。これから社会は、高齢化に加速がかかり、男性はもちろん女性にとっても「一人暮らし」は社会的孤立となる恐れが高いそうです。そこで、家族以外の人との関係を拓くことが重要のこと。一人一人価値観が

違つので比べたり、押しつけたりはできませんが、それ無理のない範囲で地域と上手に関わっていくことが、孤立解消となる一つの鍵になるのではないかと思いました。

全体会では、料理研究家浜内千波さんの講演がありました。地産地消の大切さ、季節野菜をいただく価値、料理を作る心・いたく心など体験に基づいた講話で「家庭料理」がもつ大きさを実感しました。

内閣府男女共同参画局長、佐村知子女史による「男女共同参画社会の形成は、男性もより暮らいや

すくなるものと理解してもらうことが重要」等々の基調報告は大変わかりやすく多くの男性方に広めたい内容でした。



小林さん（左側）と参加者の方々

平成二十五年七月十六日女性団連の役員であり、町議会議員でもあつた大根田和子さんが病気の為お亡くなりになりました。御冥福をお祈り致します。

編集委員

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 大島 知子 | 菊地 富士子 | 齊藤 芳子 |
| 小林 功子 | 酒井 由理 | 増渕さつき |

発行にあたり、原稿をお寄せくださいました皆様に、心よりお礼申し上げます。

「かがやき」の発行を迎えることができました。年一回の発行ですが、多くの方に当組織と活動をご理解いただければ幸いです。

編集後記

会員研修 - 終活を考える -

平成26年2月6日

講師 行政書士 深見 史

I エンディングデザインの基礎知識

1 「終活」ってなに？

「死後に向けて 行うこと、死ぬまでに行うこと」

- ・遺言書
- ・エンディングノート
- ・尊厳死宣言
- ・献体、臓器移植宣言
- ・死後事務委任契約
- ・任意後見契約…

で、何ができるか、何ができないか？を明確にしよう。

※エンディングデザインのアウトラインを作る。

→まず、簡単なエンディングノートを書こう。

※遺言書を書こう。

→遺言でできることは意外に多い。

2 延命措置をしたくない、という人が増えている。

…自分で決めた「死に方」を実現するには？

3 成年後見制度の利用って？



エンディングノートは、いざと言う時の為に、具体的にわかりやすい話でこれからの方針性が少し見えて来た様です。身近な生活の中で、今何がまさに自分が直面していることを痛感しました。

退職して、ホッと一息ついている間に、私も終活を考える時に来てしまっていることに気付かれました。老いていく自分を受け止め、心の準備にエンディングノートが活用されていることを知りました。そして、書く前に、自分の人生の見つめなおしをし、自分の色の生き生き終活を考えることが大切だそうです。書く時期を五年後に思つたら、今すぐ始めなければならぬと聞き、今まで自分が直面していることを痛感しました。

芳志戸 荷見イツ子

III ニエンディングノートをお勧め

- ◆ 氏名・住所・電話番号
- ◆ 連絡してほしい人一覧
- ◆ 血液型
- ◆ 治療方針・希望
- ◆ 保険証番号
- ◆ 埋葬方針・希望
- ◆ 緊急連絡先
- ◆ 生命保険の有無内容
- ◆ 持病・アレルギー
- ◆ 遺言書保管場所
- ◆ 主治医・医療機関名
- ◆ 遺言執行人連絡先



終 活を考えるに参加して



所属団体の減少、その団体も会員数が頭打ちや減少、高齢化など先々が不安です。ですが、それぞれの団体の目的は違つても、教養を高めあいながら、地域の役に立ちたいという思いは、変わっていないと思います。会員の「良かつた。勉強になった。」との声に安堵しながら、当会の意義を改めて考えています。これからも多くの皆様のご協力ご支援が頂けますよう、前向きに活動して参ります。



会長 廣木 初江



一年を振り返り

平成二十五年度

芳賀町女性団体連絡協議会総会

平成25年度芳賀町女性団体連絡協議会役員

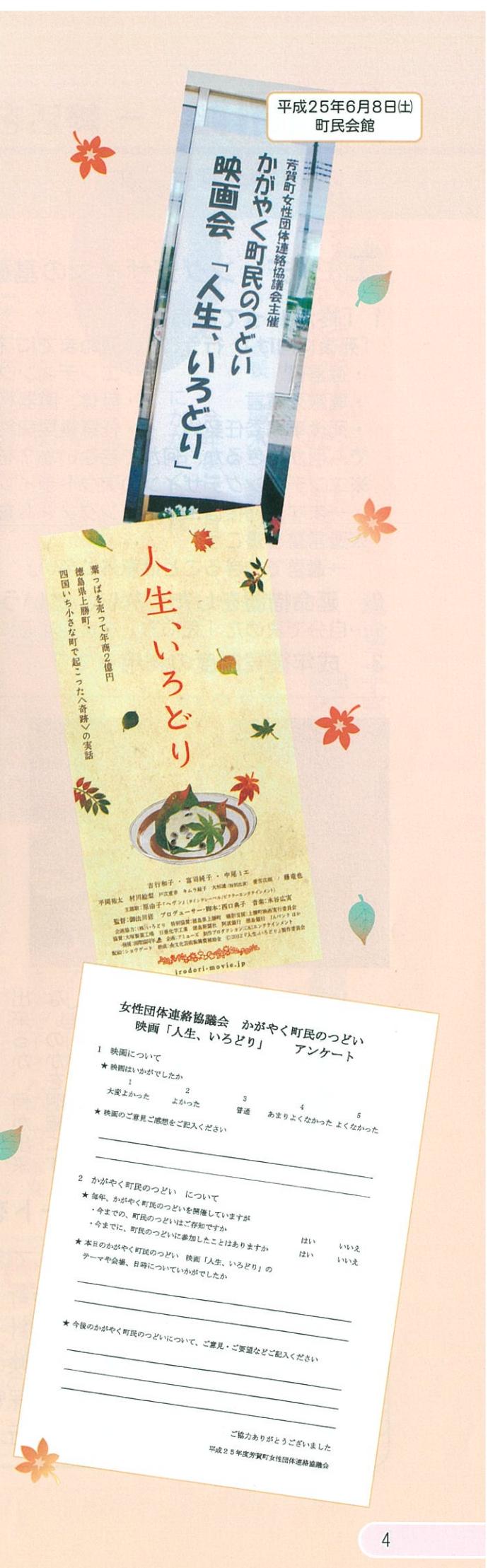
役職	氏名	団体名
会長	廣木 初江	芳賀町ひばりの会
副会長	菊地富士子	J Aはが野芳賀地区女性会
〃	小山 佳子	とちぎつばさの会芳賀支部
書記	増渕さつき	芳賀くらしの会
〃	佐野 悠葵	事務局
会計	酒井 由理	とちぎつばさの会芳賀支部
〃	関 優子	芳賀くらしの会
理事	小林 功子	J Aはが野芳賀地区女性会
〃	大島 知子	J Aはが野芳賀地区女性会
〃	大根田和子	芳賀町ひばりの会
〃	荷見イツ子	芳賀町ひばりの会
〃	岡田 知子	芳賀くらしの会
〃	大野谷 幸	農村生活研究グループ
〃	内川のり子	農村生活研究グループ
監事	綱川みね子	農村生活研究グループ
〃	斎藤 芳子	とちぎつばさの会芳賀支部

五月二十一日(水)町民会館研修室において、豊田町長、小林隆志議長のご臨席をいただき総会が開かれました。「農村生活研究グループ」の小林峰子さんを議長に、円滑に議事が進行し、無事総会が終了しました。その後、小山佳子さん、斎藤芳子さんの『日本女性会議仙台』の参加報告がありました。

共に活動しませんか

女性団体連絡協議会では加入団体を募集しています。また、それぞれの団体では会員を募っています。他の団体と交流する事により見聞を広げるばかりでなく、語り合える仲間に出会えるはずです。町や県の行事や講演会に参加し、社会の動きを感じる事もあります。一緒にかがやきませんか。

問い合わせは町民会館生涯学習課、佐野さんまで。TEL 028-677-0009

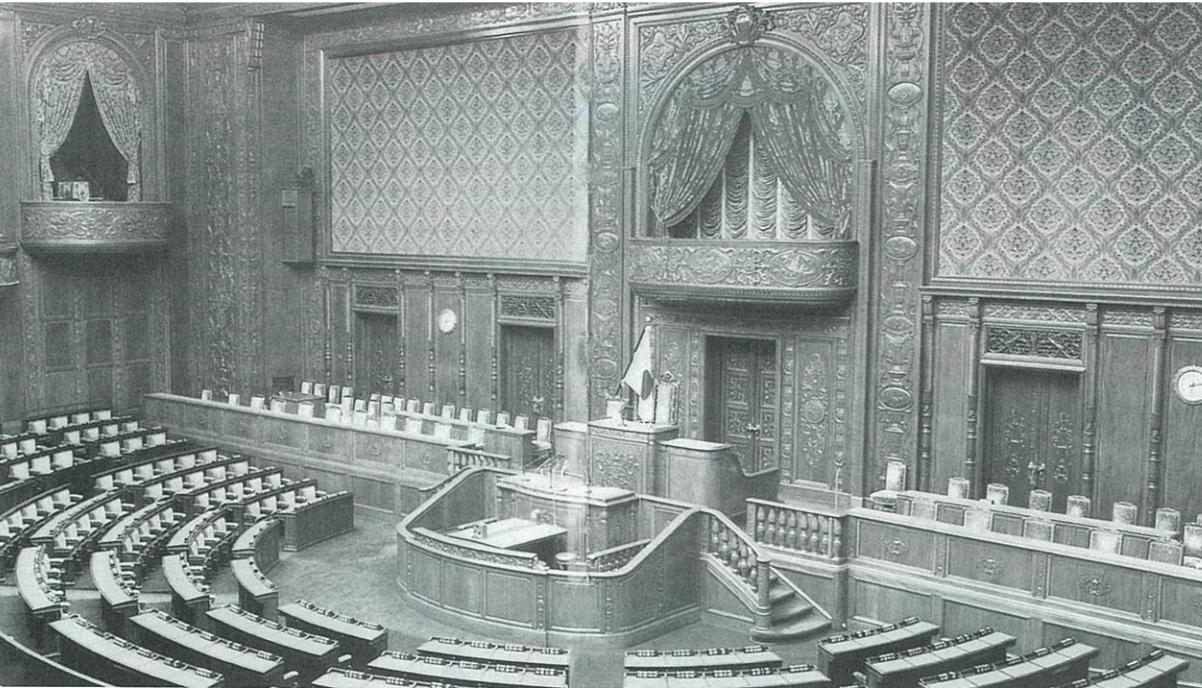


1月9日(木)

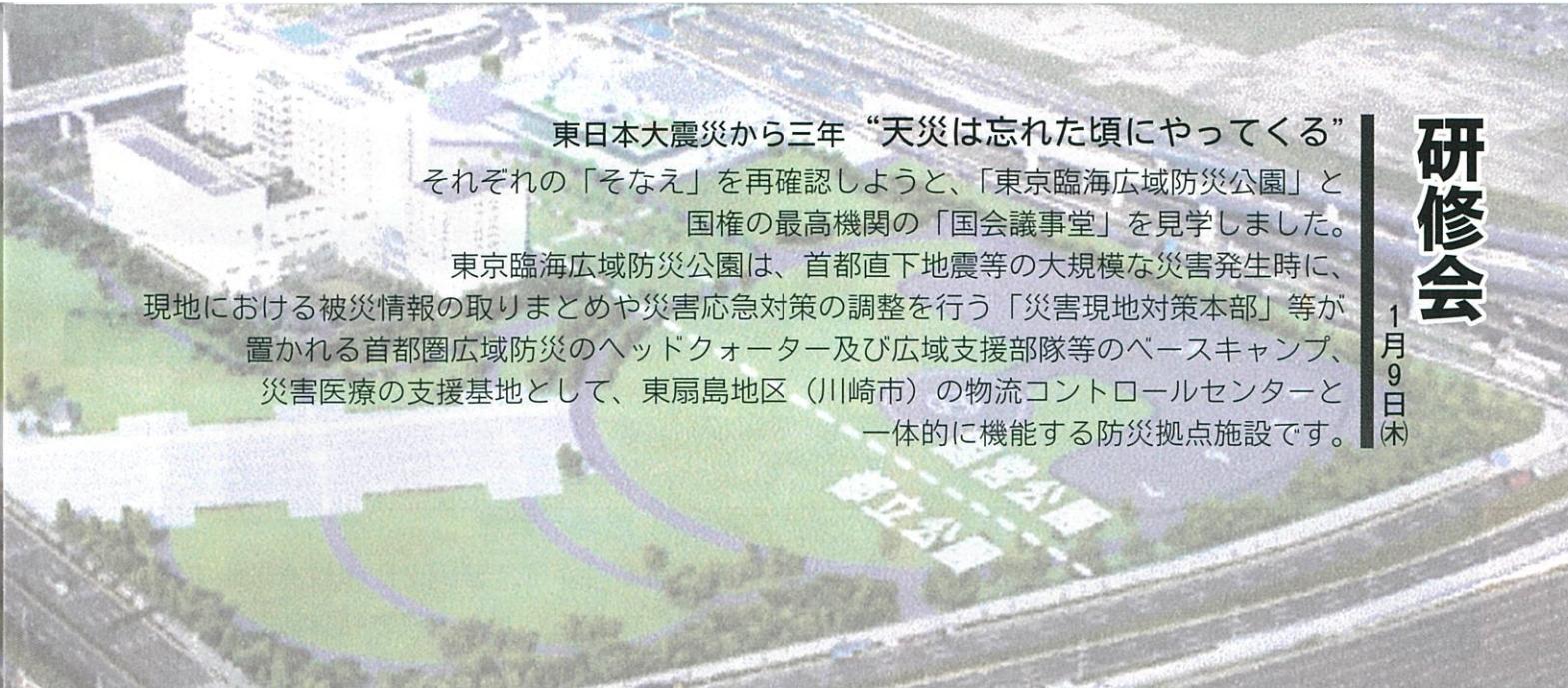
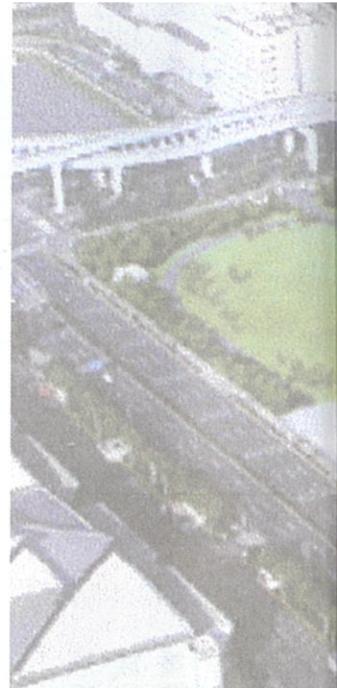
東日本大震災から三年 “天災は忘れた頃にやってくる”

それぞれの「そなえ」を再確認しようと、「東京臨海広域防災公園」と国権の最高機関の「国会議事堂」を見学しました。

東京臨海広域防災公園は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、現地における被災情報の取りまとめや災害応急対策の調整を行う「災害現地対策本部」等が置かれる首都圏広域防災のヘッドクオーター及び広域支援部隊等のベースキャンプ、災害医療の支援基地として、東扇島地区（川崎市）の物流コントロールセンターと一体的に機能する防災拠点施設です。



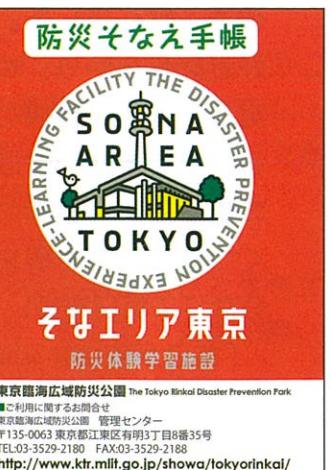
衆議院議場



研修会に参加して

東水沼 石下 篠子

「喉元過ぎれば・・・」とは良く言ったものです。人間の脳は楽観視するようにできている。そこで、実際、あの揺れを経験し、CG画像であつてほしいと思いたい映像や、機会を得て女川町の現実を見、今でも苦しんでいた人たちを感じてきても、いざ自分に置き換えてみると・・・非常時に対しての何の備え



研修会に参加して

東水沼 石下 篠子

東京臨海広域防災公園ではマグニチュード7・3の地震に遭遇した被災地を体験しました。本当の被災地と同じ感覚で体験できたことは非常に自分がなにをしたらいいか考えさせられました。

つぎの見学は国会議事堂。昭和十一年に帝国議会議事堂として建てられた歴史ある建造物。ここで日本国の大切な法律の審議がされていると思うと身の引き締まる思いでした。最近話題になった「特定秘密保護法案」、地元国議員が「皆さんには関係ないことですから」と。本当にですか？たしかにいなかで百姓をやっている私には直接関係ない法律かもしれません。でも日本の形をきめる大切な法律です。今この国会で憲法改正の動きもあります。日本という国の今と未来を決める大切な法律です。この国会議事堂のなかで決められるに私たちもっと責任を持つて理解し、意見が言えるようにならければいけないと痛感しました。



地震が起こるまえに 10 のそなえ

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ① 家具類の転倒、落下防止をしておこう | ⑦ みんなで話し合っておこう |
| ② けがの防止対策をしておこう | ⑧ 地域の危険性を把握しておこう |
| ③ 家屋や塀の強度を確認しておこう | ⑨ 防災知識を身につけておこう |
| ④ 消火のそなえをしておこう | ⑩ 防災行動力を高めておこう |
| ⑤ 火災をいち早く見つけるために確認しておこう | |
| ⑥ 非常用品をそなえておこう | |

で話し合っておこう
危険性を把握しておこう
知識を身につけておこう
動力を高めておこう

もしていない自分がいます。今後三十年以内に六十%の確立で起るとされるM7クラスの巨大地震や富士山噴火。考えたくはないですがこれが現実。
今回の東京臨海広域防災公園内の防災体験施設「そなエリア東京」での研修では、あらためて防災に対する考え方を反省し見直す機会でした。一人で頑張るのではなく家族を巻き込んでの防災が必須ですので、一度ご家族で訪れてみてはいかがでしょうか。